

被爆(ひろしま原爆)ピアノとは

原爆投下時 1945 年 8 月 6 日広島、8 月 9 日長崎で爆心地より約 3km 以内で原爆の爆風、熱線、放射能等の被害を受けたピアノの事を言います。

被爆(ひろしま原爆)ピアノへの取り組み

命の大切さを奏でる平和の音色。

2001 年より(広島平和記念公園)被爆アオギリの前でコンサートを開催し、

広島の被爆二世の調律師として被爆者より 7 台のピアノを授かり自前の 4 トント



ラックを運転し沖縄から北海道まで今まで 1500 カ所以上のお迎えを頂きました。

そして、2010 年 9 月に、はじめて海を越え、ニューヨークでまた、2017 年 12 月にはオスロ市でノーベル平和コンサートにお招きいただきました。

原爆を乗り越えたピアノが奏でる音色は平和と地球を大切にすることをやさしく伝えていきます。

映画 おかあさんの被爆ピアノ

2020 年 7 月より全国各地で上映。
詳しくは公式サイトをご覧ください。



被爆(ひろしま原爆)ピアノ友の会

同会では、被爆(ひろしま原爆)ピアノへの取り組みにご賛同頂ける方々へ年 3 回程度の情報配信をしています。

年会費：2000 円

振込先：ゆうちょ銀行 01330-1-100490
口座名義：被爆ピアノ世界平和コンサート基金
※お振り込みの際、通信欄に(友の会)とご記入ください。

被爆(ひろしま原爆)ピアノプロフィール (※矢川ピアノ工房 所有)

1. ヤマハ アップライトピアノ(千田町ピアノ)

製造：昭和 7 年 製造番号 18209
形状：85 鍵 象牙鍵盤
サイズ：高さ 124cm 横幅 148cm 奥行き 64cm 重量約 220kg
被爆状況：広島市中区千田町爆心地より 1.8km の民家で被爆
経緯：被爆(ひろしま原爆)ピアノ所有者より、矢川光則へ託される。
現状：被爆当初のままであるが、演奏は十分に出来るように修復され、コンサートで使用されている。



2. ヤマハ アップライトピアノ(宇品ピアノ)

製造：昭和 13 年 製造番号 33918
形状：85 鍵 セルロイド鍵盤
サイズ：高さ 124cm 横幅 148cm 奥行き 64cm 重量約 220kg
被爆状況：広島市南区宇品爆心地より 3km の民家で被爆
経緯：被爆者団体より、矢川光則へ託される。
現状：被爆当初のままであるが、演奏は十分に出来るように修復され、コンサートで使用されている。



3. ホルゲル(HORUGEL) アップライトピアノ(段原ピアノ)

製造：不明 製造番号 13596
形状：88 鍵 象牙鍵盤 2 本ペダル
サイズ：高さ 128cm 横幅 157cm 奥行き 61cm 重量約 240kg
被爆状況：広島市南区段原山崎町爆心地より 2.6km で被爆。元の持ち主とピアノが自宅にて同時被爆
経緯：原爆ピアノ所有者より、矢川光則へ託される。
現状：被爆当初のままであるが、演奏は十分に出来るように修復され、コンサートで使用されている。



4. ヤマハ アップライトピアノ(舟入ピアノ)

製造：大正 9 年 製造番号 9817
形状：85 鍵 象牙鍵盤
サイズ：高さ 130cm 横幅 154cm 奥行き 68cm 重量約 280kg
被爆状況：広島市中区舟入町爆心地より 1.5km で被爆。元の持ち主とピアノが自宅にて同時被爆
経緯：原爆ピアノ所有者より、矢川光則へ託される。
現状：被爆当初のままであるが、演奏は十分に出来るように修復され、コンサートで使用されている。



5. ヤマハ セミコンサート グランドピアノ

製造：昭和 12 年 製造番号 31953
形状：88 鍵 6 本脚 1 本張弦方式(総アグラフ)
サイズ：高さ 102cm 横幅 161cm 奥行き 260cm 重量約 550kg
被爆状況：広島市西区爆心地より 2km の小学校で被爆し大きな被害を受ける。
経緯：広島市のピアノ教師より、矢川光則へ託される。
現状：昭和 21 年に広島ピアノ工場で、大がかりな修復を行う。演奏は十分に出来るように修復され、コンサートで使用されている。



6. モルゲンスターンアップライトピアノ(牛田ピアノ)

製造：不明
形状：85 鍵 セルロイド鍵盤
サイズ：高さ 127cm 横幅 149cm 奥行き 63cm 重量約 210kg
被爆状況：広島市東区牛田旭 1 丁目爆心地より 2.3km で、元の持ち主とピアノが同時に被爆。
経緯：元の持ち主の家族より矢川光則へ託される。
現状：被爆当初のままであるがコンサートで使用されている。



7. エイラーズ(EILERS) アップライトピアノ

製造：1924 年(大正 13 年) アメリカ カルフォルニア産
形状：88 鍵 象牙鍵盤 3 本ペダル
サイズ：高さ 140cm 横幅 164cm 奥行き 69cm 重量約 280kg
被爆状況：広島市西観音町(爆心地より約 1.7km)の民家で被爆。
経緯：被爆ピアノ所有者より、矢川へ託される。



被爆ピアノ資料館について

ピアノ調律師として約50年、広島でピアノ修理活動をしている中で1998年被爆者より1台の被爆ピアノを託された事をきっかけに、自分のできる平和運動として2001年より被爆ピアノ全国巡演コンサートを開始しました。



矢川 光則

被爆したピアノの音色を五感に聴覚に感じてもらう事で、特に子どもたちへの平和学習では大きな役目を果たし、多くの人に平和を伝えていく平和の種蒔きをしてまいりました。

しかし私も高齢を迎え、この活動はいずれ限りがくると思いました。被爆ピアノは被爆資料として永久保存しなくてはなりませんので、今後のことを考え、(株)矢川ピアノ工房 敷地内に被爆ピアノ資料館を建設しました。

資料館には被爆ピアノ7台と他に空襲を受けたピアノ等もあり、戦火を超えてきたピアノとして10台くらい展示しています。資料館でも小さなコンサート、講演会等の企画や大型スクリーンを設置して命の教育、平和学習の場としても活用していただけます。全国の皆さん、ぜひ被爆ピアノ資料館においでください。

所在地・連絡先・アクセス

住所：広島市安佐南区伴西6丁目309
(株)矢川ピアノ工房 内 (〒731-3169)

TEL：082-848-9533

FAX：082-215-0320

※事前予約が必要です。お気軽にお問い合わせください。

西風新都・A.CITY方面から車でお越しの際は、和楽荘（老人ホーム）を目印に 県道71号線、湯来・吉山方面へ向かい、憩いの森の看板を左折し、直進400mで当館です。広島駅より広島高速4号線を通り、所要時間約30分 西風新都I.Cより所要時間約5分

詳細は、矢川ピアノ工房のホームページ(右の二次元コード)の「被爆(ひろしま原爆)ピアノへの取り組み」をご覧ください。



2023年4月1日発行
©(株)矢川ピアノ工房／被爆ピアノ資料館



被爆ピアノ資料館
広島を縫く記憶を縫く